



創立139年

写真特集

鳳祭

11/1~4



ホームカミングデー

書の魅力語る

仲川名譽教授が講演



「製本」など自筆の書をバックに講演

を広く、本学の文  
学部教授も務めた

て講演を終えた。  
(9面に関連記事)

芸術としての書を、制作と学  
術の両面で探究する仲川恭司名  
誉教授がホームカミングデーの  
トップで講演、本学での研究・  
究に打ち込んだ。2016年に  
定年退職後は、毎日書道展で最  
高賞、また個展の開  
催で毎日書道賞を  
受賞した。毎日書  
道会理事、独立書  
人団体理事の要職  
を担うほか国連教  
育科学文化機関  
(ユネスコ)の無  
形文化遺産に日本  
の書道文化書き初  
めの登録を推進す  
る協議会委員を務  
めるなど、書の普  
及にも尽力してい  
る。

世界に通じる書  
手島右卿氏に師事した。書は教  
えられるものではなく盗むもの  
だと学んだ。学生が勉学に対す  
る姿勢も同じ」と語った。また  
「少字数書」に挑んだのは高校  
時代、「書」といえば漢詩を書く  
のがほとんどで、母に詩作を見  
せるとほめてくれるが「なんど  
読むの？」と聞かれる。もっと  
字数が少なく、分かりやすい作  
品が書けないかと思ったと振り  
返った。師が推進した「少字  
数書」をより新しい世界へ再構  
築しようとする意欲を語った。  
教員になって間もなく、生田  
キャンパス旧2号館に、初めて  
本格的な書道室が設けられた。  
「他大学の書道室などを参考に  
して日本一のものを作りたいと  
思った。完成した書道室は生田  
緑地に近く、自然豊かな中で存  
分に授業を行い、筆を執った。  
東日本大震災の影響により、9  
号館に環境で書を取り組んでは  
ないに願っている。専大の書道  
室は今でも夢に出てくるほど身  
近なものだ」と笑顔で語った。  
最後に好きな言葉として「人  
生は未体験への挑戦」を披露し

多彩なイベントで校友を歓迎



武田教授×長野智子さん  
「報道とは伝える側の信念」

文学部ジャーナリズム学科開設記念対談



文学部ジャーナリズム学科開設を  
記念して、特任教授に就任する野  
智子さんと文学部の武田徹教授の対  
談が行われた。写真。

長野さんはフジテレビアナウンサ  
ーからアメリカ留学を経て、現在は  
「サンデーモーニング」テレビ  
朝日のメインキャスターを務める。  
バラエティ時代取材現場での  
エピソード、調査報道への思いを明  
瞭な語り口で披露。2001年9  
月10日の米同時  
多発テロ直後、  
パレスチナから  
伝えたときに、  
報道とは伝える  
側の信念だと強  
く感じた」と原  
点を語った。

また、長野さ  
んはネットメデ  
ィア「ハフポス  
ト」日本版の編  
集主幹を務めて  
おり、テレビの  
報道ではできな  
いこともネット  
ではできる。受  
け手の側もど  
うかを否定する  
のではなく、両方のいいところを  
するよう楽しみ方をとほしい」と  
呼びかけた。

「日本も世界も、黒い白かという  
対立の議論ばかりになっているが、  
本当に大事なことは、もっと複雑で  
判断が難しいのではないかとし  
て、こうした点で議論を深めてい  
けるような授業の取り組みたい」と  
ジャーナリズム学科特任教授就任の  
抱負を語った。

月10日の米同時  
多発テロ直後、  
パレスチナから  
伝えたときに、  
報道とは伝える  
側の信念だと強  
く感じた」と原  
点を語った。